



5月の園だより



2024年 認定こども園 大津保育園 46-5811 090-1549-6223

新しいクラスでの生活が始まり、1か月が過ぎました。登園時、お母さんとなかなか離れず泣いていた新入園児も、たくさんの先生やお友達にやっと慣れ、明るい笑顔を見せてくれるようになりました。在園児も、ひとつ大きくなった喜びを感じ、落ち着いた日々を過ごしています。

この時期は子ども達にとって、緊張感が解け疲れやすい時期でもあります。ご家庭でも、睡眠・朝ごはんをしっかりとって、元気に過ごしていけるようご配慮いただければと思います。

今月の予定

- 2日(木) 端午の節句会
 - 8日(水) 尿検査(2歳以上児)
 - 18日(土) 保育参観
(1・3・5歳児)
 - 24日(金) 誕生日会
- ※避難訓練は抜打ちで2回実施します。

端午の節句とは5月5日に、こいのぼり・鎧兜・菖蒲を飾ったり、菖蒲湯に入り柏餅や粽(ちまき)を食べ、男の子の厄よけと成長を祝う行事です。

子どもの日は、「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」国民の祝日です。子どもの成長を祝う「端午の節句」が5月5日だったことから制定されました。

子どもが親に臨んでいるもの。それは、「どんなキミでもキミが好きだよ」というメッセージです
「シンプルな育児の正解」より抜粋

「あなたが大事」というメッセージを子どもの心に届けたい

子どもが育つためには、絶対に必要なもの、それは「自分は大事にされている」という実感、安心感。あとは子ども自身のさまざまな体験。ごくシンプルに考えれば、この二つだけかなと思います。

たとえば、「明日は遠足だよ」と言ったら「じゃ、あなたの好きなから揚げを作ろうね」と答えてくれるお母さんの笑顔。友達とけんかをしてしょんぼりしていると、「元気ないのね」と顔をのぞきこんでくれるお母さんの心配そうな表情。毎日の生活の中の、ささやかなふれ合いを通じ、自分は大事に思われているんだなという実感は育つのだと思います。特別なことではなく、毎日ご飯を食べさせてくれて、気持ちよく寝かせてくれて、元気がなかったら「あらあら、どうしたの」って心配してくれて。そんなベーシックな部分さえしっかりしていれば、子どもは安心して、ちゃんと育っていけるものです。

こいのぼり製作(入園・進級して初の行事製作です)



<つくし>



<たんぼぼ>



<ちゅういっぷ>



<ひまわり>



<すみれ>



<ゆい>

